



今までの仕事や英語を活かして観光分野での地域おこしをしていきたいと考えている阿部さん。そんな阿部さんにお話をお伺いしました。

●なぜ地域おこし協力隊に応募したのですか。

以前は東京の自宅で翻訳業をしていましたが、数年前から地方に移住したい、いろいろな人とふれあえる仕事をしたいと考えていました。そんな時、倉敷の観光分野での地域おこし協力隊の募集を見つけました。高梁川流域の中山間地域から、都会的な倉敷というまちまで、広く観光に関わる仕事をしたいと思ったことが、応募のきっかけです。

●今までに倉敷に来られたことはありませんか。

子どもの頃に1度だけ倉敷を訪れたことがあります。その時は大原美術館に行ってエルグレコの前で写真を撮った記憶があります。倉敷についてはまだまだ知らないことだらけなので、まずは、多く

の地域に足を運び、見て、聞いて、知ることから始めたいです。



●倉敷市に来て、どんなところに行かれましたか。

協力隊活動の中では、高梁川流域の各市に足を運びました。最近では、高梁市の吹屋に行きました。行く道中の高梁川もとてもきれいでした。これからもっと、高梁川流域のいろんな地域に行きたいで

す。他には、休日にサイクリングを楽しんでいます。先日、総社のサイクリングロードを走りました。今度、兎島をサイクリングしたいと考えています。

●他に休日には何をされていますか。

まだ倉敷に来て1か月半ほどなので、サイクリングがメインですね。その途中で撮影した写真をSNSに投稿することもあります。また、趣味が旅行なので、瀬戸内周辺へ旅行に行きたいです。そのほかに読書も好きで、岡山県は岡山県立図書館が有名なので、図書館巡りや岡山県にゆかりのある横溝正史の本も読んでみたいです。

●こちらにきてから驚いたことがあれば教えてください。

驚いたことというか、すごいと思ったのは、地元のことを考えている市民団体がたくさんあることです。セミナーに参加する機会があるのですが、地元愛の強い方がとても多いです。それにまちづくりに対する気持ちがある方も沢山いらっしやって、そんな方のお手伝いができるような活動をしていきたいですね。

●現在、どのような活動に取り組んでいますか。

地域おこし協力隊として委嘱を受けて、まだ1か月半と日が浅く、具体的な活動はまだ行えていませんが、FMラジオやインターネットなどの情報発信媒体を介して、市民や観光客の方々に倉敷や高梁川流域の観光情報を発信していこうと考えています。

ですので、今は、高梁川流域の各地に実際に足を運び、その地域の特徴やいいところを探している最中です。



●今後取り組みたいことはありますか。

地元の人ではない外からの視点で、私の感じた、倉敷、高梁川流域のいいもの、いい場所、いい景色、頑張っている人など、倉敷、高梁川流域の観光情報を伝えていきたいと考えています。

また、協力隊活動を行っていく上で、各地の地域おこし協力隊の方々や、観光関係事業者の皆さんとも積極的に交流して、ネットワークを築いていきたいです。

●最後に今後に向けて一言お願いします。

倉敷に来られる観光客の中には数時間しか滞在しない方が多くいます。しかし、倉敷にはいい場所やいいモノがたくさんあります。1回訪れたら満足というわけではなく、何日か滞在したり、何度も訪れたりしたくなるような情報をラジオやSNSで発信していく活動をしていきたいと考えています。